

宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

2019 3月



常設展示室



●●● 展示作品より今月の一点 ●●●

《 幸福な子等 》



白い歯を見せて、いきり笑う子どもたちの姿がリアルで、にぎやかにはしゃぐ声が聞こえてきそうです。この作品のように見る者を幸せな気持ちにする子どもたちの絵を多数描いた宮永ですが、本人は、青春の真只中で、戦争による2度の兵役を経験しています。

この『幸福な子等』は、終戦から5年後に描かれたもので、宮永の画家としてのあり方を強く感じさせる作品です。宮永は、自身のことを、「アトリエに閉じこもって、ひたむきに芸術を探究する芸術家とは違い、社会の中に生きる芸術家である」と称しています。この作品を描いたのも、戦後の荒涼とした社会で、画家として何をすべきかを自らに問うた宮永が、子どもたちの無邪気な姿によって人々の心に明かりを灯そうという使命を感じたからではないでしょうか。

油彩画 1950(昭和25)年 50F(130.3×97.0 cm)

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

宮永岳彦

開催いたしました 生誕100周年記念特別展 100年の歩み ～社会に生きる芸術家～



大正8年(1919)2月20日生まれの宮永、今年は、生誕100年になります。市民ギャラリーでは、2月19日から2月24日まで、写真で宮永の軌跡を振り返る『宮永岳彦生誕100周年記念特別展』を開催し、たくさんの方にご来場いただきました。

市民ギャラリーのご案内

入場無料

カメラクラブ遊友 第21回写真展 “それぞれの世界”

2月26日(火)～3月3日(日)
10:00～17:00 (初日 13:00から 最終日 16:00まで)

“それぞれの世界”と題して、各人の感性と個性を活かした作品を思い思いの展示方法でご覧いただけます。

第23回おね油絵サークル展

3月19日(火)～3月24日(日)
10:00～17:00 (初日 13:00から 最終日 16:00まで)

大根油絵サークルの14名が、1年間の作品の中から選別した何点かを展示します。具象、抽象共にあります。

※3月29日(金)から4月7日(日)まで、市民ギャラリーは統一地方選挙期日前投票所となるためご利用できません。

※4月9日(火)から4月21日(日)まで、市民ギャラリーは国会議員補欠選挙を行う際は、投票所となりますのでご利用できません。

※3月1日(金)より9月分までの予約を受け付けています。

宮永岳彦の思い出 ～写真とともに～

専売局(のちの専売公社)に勤める父の転勤先である静岡県磐田郡で生まれた宮永は、二女一男の末っ子として誰からも愛された少年時代を送りました。

右の愛くるしい写真を見ると、周囲の人々の可愛がる様子が目に浮かびます。



1920(大正9)年 満1歳頃



1923(大正12)年 家族写真

しかし、母親は二人息子を甘やかさず厳しくしつけたそうです。その厳しさが、画道一筋に立ち向かう精神を培ってくれたと、宮永は後に回想しています。絵の好きな息子を温かく見守った父親は、13歳の宮永を名古屋市立工業学校に進ませました。

美術館へのアクセス



- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

3月の休館日：4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)